

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

- ㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇 〒339-0006 さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

令和4年11月1日(火) 11月号

TEL048-794-2316 メール: kamisato-e@saitama-city.ed.jp

子どもたちの対応力に感心しました（5年生自然の教室より）

校長 梶山 崇

10月6日(木)～8日(土)の3日間、5年生の自然の教室が実施されました。今年度は自然の家が中規模修繕工事のため、自然の家での宿泊でなく、ホテル南郷という民間施設に宿泊しました。

子どもたちは自然の教室に向けてスローガンを決めたり、キャンプファイヤーの練習をしたりと意欲的に取り組んできました。3日間の天候ですが、1日目と2日目は雨が降りました。せっかく子どもたちが練習や準備をしてきたので、何とか予定されていたプログラム(活動)を実施するために変更は次ぐ変更でしたが、子どもたちは上手に対応してくれました。

1日目の夜は、2日目の夜に予定していたキャンプファイヤーを行いました。今回はもう1校のさいたま市の小学校も同施設で自然の教室を行っていた関係で、2校でキャンプファイヤーの時間を調整しました。ちょうど日も暮れ、夕闇が迫ってきた17時20分頃からキャンプファイヤーが始まりました。火の神が入場し、火の子へ4つの火(友情、協力、希望、絆)の分火を行いました。暗い中、火が輝く様子は何ともいえないほどの美しさでした。学校でもゲームやダンスの練習をしましたが、恥ずかしさもあり、今一つ盛り上がりませんでした。キャンプファイヤーでは、子どもたちもゲームやダンスなどを心から楽しみました。キャンプファイヤーが始まる時、一時的ですが、西の空に美しい夕焼けが見られ、その景色に感動していた子どもたちもいました。

2日目は、3つのプログラム(活動)に取り組みました。はじめに実際に川魚(ニジマス)を捌くことにより、命をいただくことを改めて考える機会となりました。そのあとは、野外炊飯で、とん汁を作りました。かまど組と野菜切り組に分かれて、作業をしました。コミュニケーションを取って、協力しなければ火をつけたり、とん汁を完成したりすることはできません。子どもたちは声をかけ合い、協力して取り組んでいました。見ていてほっこりする時間でした。昼食時には、自然の家の所長さんに炭で焼いていただいたニジマスと自分たちで作ったとん汁とご飯をいただきました。2日目の午前中は比較的少雨でしたが、午後になって本降りの雨になってきました。午後は焼き板を行いました。雨を避けるために軒下でクラスごとに活動しました。子どもたちは、煙を避けつつ、板を焼き、そのあと、板を磨きました。降雨の中でしたが、2日目の取組の様子がとてもすばらしかったので、3日目の退所式のときに自然の家の所長さんから、「雨の中、3つのプログラムをこんなにがんばった学校はない。」とお褒めのことばをいただきました。私も全く同感です。

3日目は、朝8時過ぎまで雨が降っていて、子どもたちはかさを差して活動場所に移動しました。そこで、昨日磨いた焼き板に白いペンキで絵や文字を描く作業を行いました。子どもたちは手際がよく、仕上げるのに1時間もかかりませんでした。仕上げの頃、陽が差してきました。退所式や昼食まで時間が1時間弱ありましたので、クラスごとに近くの山でミニハイキングを行いました。明るい日差しの中、子どもたちも大喜びで、カマキリなどの生き物を探したり、付近を散策したりするなど、活動班ごとに思い思いに過ごしました。太陽の光がこんなにも明るくあたたかいものであることを改めて実感しました。ただ、下山し終わった頃は、また小雨が降ってきました。

3日間を通して、変更がとても多かったのですが、子どもたちは前向きに取り組んでくれました。子どもたちの素晴らしさを実感したと共に、まさに自然の教室は生きた勉強であると改めて思いました。

現在、まだコロナ禍が続いていますが、今後は令和元年までのようにさまざまな学校行事が実施可能な形式で行われることが多くなります。これからも行事のねらいを常に意識し、安全に取り組みます。また行事をとおして子どもたちの心をはぐくんでいきます。

今月も本校の教育活動にご支援をよろしくお願いいたします。